

平成5年度夏山登山記録

1 期間

平成5年8月6日(金)～8月11日(水)

2 目的地

鳳凰三山 (薬師岳、観音岳、地藏岳等)

3 参加者

隊長： 谷 端 伸 彦
隊員： 瀬 戸 明 宏 (会計係)
 辻 川 輝 男
 森 本 宏
 鈴 木 啓 祐 (記録係)

4 日程

(8月6日)

大阪——米原——名古屋——中津川——塩尻——甲府

(8月7日)

甲府——夜叉神峠——夜叉神峠頂上小屋——杖立峠——苺平——南御室小屋 (泊)

(8月8日)

南御室小屋——薬師小屋——薬師岳——観音岳——赤抜沢の頭——地藏岳——

赤抜沢の頭——高嶺——白鳳峠——広河原峠——早川尾根小屋 (泊)

(8月9日)

早川尾根小屋——アサヨ峰——栗沢山——北沢峠——大平山荘 (泊)

(8月10日)

太平山荘——戸台大橋——伊那市——岡谷——信濃境——塩沢鉱泉 (泊)

(8月11日)

塩沢鉱泉——サントリー白洲工場——小淵沢——塩尻——中津川——名古屋——

大阪 (鶴橋着)

—— 鉄道
== バス

..... タクシー
—— 徒行

5 宿泊地

- ・南御室小屋 ☎0551-22-1822
- ・早川尾根小屋 ☎0511-35-2048
- ・大平山荘 ☎02657-8-3761
- ・塩沢鉱泉 (信甲館) ☎0266-64-2750

6 記録

(1) 8月6日 (金)

- 15:00 大阪駅、集合 (谷端隊長、辻川氏、鈴木)、夕飯と明日の朝食購入
- 15:30 大阪発、「青春18切符」の旅が始まる
- 16:00 京都着、瀬戸氏乗車、車中瀬戸氏見つからず
- 16:54 米原着、やっと瀬戸氏と合流
- 17:14 米原発
- 18:29 名古屋着、森本氏合流
- 18:40 名古屋発
- 19:49 中津川着 *新幹線 脱線事故の影響により*
- 20:05 中津川発、途中タイヤの乱れ発生し、塩尻に時間通りつけるかわからずあせる
- 22:10 塩尻着、23分遅れて到着
- 22:13 塩尻発
- 23:38 甲府着

バスに遅れそうになるので

(2) 8月7日 (土)

- 3:00 甲府駅、各自1時間程度仮眠、甲府の町はケンカと暴走族で夜が明けた。辻川氏、瀬戸氏、森本氏はタクシーで夜叉神峠へ、隊長は予定通りあくまでバスでいくとのこと、鈴木は隊長と同行する (バスに乗車寸前に隊長暴走族のバイクに引かれそうになる)
- 4:00 夜叉神峠着、とりあえず朝食をとり記念撮影、ポリタンクに水を汲み登山準備、登山届けを提出
- 5:00 夜叉神峠発、最初から少しきつい登りが始まる
- 6:17 夜叉神峠頂上小屋着、休憩
- 6:40 夜叉神峠頂上小屋発
- 8:30 杖立峠着 *下山してまたおんサン二人「今朝は白鳳三山から富士山まで来たよ見えてるわー」*
- 8:55 杖立峠発
- 11:10 葛平着、昼食 (カレーライス)、食後コーヒーを飲む
- 12:45 葛平発
- 13:00 南御室小屋着、とにもかくにもビールを飲む、小屋のオヤジは登山者に講釈をたれる (一見ポリシーをもっているように見えたが、単にめんどくさがりの講釈たれだった)、睡眠不足のため夕食までの時間各自睡眠をとる (寝床の場所を変えて寝ていたためオヤジに起こされ怒られる)
- 17:30 夕食 (山菜ゴハン、魚と貝の缶詰、ポテトサラダ、漬物、玉葱の味噌汁)、おかわりをしたら怒られそうだったのとはっきりいってまずかったので食欲がわかない
- 19:00 就寝、睡眠不足のため疲れていたが、隣の3人組の宿泊客の奏でるイビキでなかなか寝つけない (かれらのことを混声合唱団『いびき』と命名する) この日

森本氏を悪く「この列が5人でその中3人というのと同じ600円で不公平やから」みたいな内容の2人うぶやいな

1泊2食付で¥6,000

(3)8月8日(日)

5:00 起床

5:30 朝食(昨日の夕食よりおいしかった)朝食後出発までリーダートイレにこもる

7:00 南御室小屋から薬師岳を目指して出発

8:25 薬師岳小屋着、小休止

8:50 薬師岳小屋発

9:00 薬師岳着、小雨が降っており景色は不良のためすぐに出発

9:30 観音岳着、今回の登山最高峰(2,840メートル)、皆そろって記念撮影

9:50 観音岳発、森林限界を越えており、すずしかった

10:50 アカヌケ沢の頭着、地蔵岳がきれいに見えた、ザックをおろし地蔵岳へ

12:00 地蔵岳着、頂上までは登れなかったがとにかく登れるところまでいった、オベリスクが美しかった、賽ノ河原に多数の地蔵仏があった

12:10 アカヌケ沢の頭にて昼食、五目御飯、マグヌードル等を食べる

13:00 アカヌケ沢の頭発

13:57 高嶺着、しばし休憩、富士山、八ヶ岳が見えた

15:00 白鳳峠着、下りの岩石地帯は歩きにくかった、しばし休憩

15:15 白鳳峠発

16:17 広河原峠着、あと少しで早川尾根小屋につく実感がわいてくる、昨日泊まった南御室小屋の御飯のまずさから考えて早川尾根小屋もまずいのではないかとの意見を採用し夕飯は自炊することにする

16:55 早川尾根小屋着、小屋では夕飯がはじまるころだった、昨日と異なりたいそうおいしそうな夕飯だった(後悔しても始まらない)、とにもかくにもビールで潤いた喉を潤して夕食の準備を開始、メニューはカンタブランチの焼きそば、すき焼き丼、中華丼、圧巻はリーダー購入のチーズフォンデュ、昨日の夕飯とは異なり格別おいしかった(この日は寝具付素泊まり¥3,500)

19:00 就寝

(4)8月9日(月)

5:00 起床

5:30 小雨のため小屋のオヤジのご好意により小屋のなかで朝食の準備開始、御飯を炊きふりかけで食べる、食後コーヒーを飲む

6:50 早川尾根小屋発

8:30 ミヨシノ頭着、雨のため登山道がぬかるんでおり歩きづらい

9:30 アサヨ峰のすぐ下に着、ガスっていて景色不良、北岳はいまだ視界にはいってこない

10:50 栗沢山着、岩場が多くてたまに滑って怖かった

10:55 本日最初の煙草を吸う、風が強く少々寒いので北沢峠へ

12:55 北沢峠着、下りの連続、ぬかるんでいるため滑ってばかりいた

13:05 太平山荘着、ここでもとりあえずビールを飲む、早速昼食の準備、メニューはカンタブランチのスパゲティ、五目御飯、ソーセージ、焼き肉とコンビーフの缶詰、食後コーヒーを飲み諸先輩方から「コッヘル黒こげ事件」「ポリタンク谷底落下事件」等過去の登山話をしてもらいおおいにもりあがる

17:00 夕食、格別美味かった、メニューは天麩羅、山菜、野菜、味噌汁等

- 18:00 しばし小屋の外で休憩、小屋のばあさんが皇太子饅頭事件、長衛爺さん話をしていた（ちっとも変わってへんな〜と思う諸先輩方であった）
19:00 就寝

(5)8月10日（月）

- 5:00 起床、よく眠ったため今朝の目覚めは最高だった
6:00 朝食、メニューは山菜の天麩羅、ハムエッグ、野菜、漬物、味噌汁等（ひさしぶりに食べる美味しい朝食に満足）
6:20 休憩、バスに乗って戸台大橋までいくことになったので小屋の人にバスの手配を依頼
7:20 隊長がばあさんからトマトをいただく、隊長一人で戸台大橋まで歩くとのこと一人でかけていった
7:30 残った4人はバスで戸台大橋へ、途中バスから見た鋸岳は美しかった
8:00 戸台大橋到着、隊長より「戸台で待つように」とのことだったが周辺にはまてるような場所無し、苦慮の末、置手紙（写真参照してください）を大橋の管理人のオジサンにあづけてタクシーを呼んでもらうこととした
9:20 タクシー到着、ここ数日雨が降ったため入笠山を越えて富士見へ抜けることを断念し、伊那市へ
10:00 伊那市到着、町中をぶらついて喫茶店に入る、しばし過去の登山話でもりあがる
11:00 駅前のパチンコ店で奮闘、鈴木フィーバーをだして感極まる
12:00 喫茶店の上にある食堂で昼食、馬刺しが美味かった
12:30 食堂を出てすぐに隊長を発見
13:20 駅前にある和菓子屋で隊長推薦の和菓子を購入
13:49 伊那市駅発
14:32 岡谷着
14:55 岡谷発
15:37 信濃境着、森本氏駅員に塩沢鉦泉への道順を聞く、駅員曰く「30分くらいかかる」とのこと、公衆電話で旅館に電話、旅館曰く「送迎バスは有りません」とのこと、そこでたった一台しかない駅前タクシーを乗ろうとするが運転手不在のためしかたなくあるくことにする
16:50 塩沢鉦泉・信甲館着、信濃境より徒歩15分とのことだったが、気がつくとも1時間以上歩いていた（ちなみに日本交通公社発行の93~94年版『全国温泉宿泊情報』によればJR富士見駅よりバスで15分と記載されたいた）
旅館の好意で部屋を2室用意してくれた
17:30 疲れた体を癒すため風呂へ
18:00 ひと風呂浴びてビールで喉を潤す（隊長はまだ風呂場だった）
19:00 待ちに待った夕食、メニューは天麩羅、鯉に刺身、山菜、馬刺し、ハム、鮎の塩焼、陶板焼きの鍋物、吸い物等最高の料理だった
21:00 食事終了し部屋へ戻る、しばしテレビを見ながら歓談
23:00 辻川氏、森本氏は隣の部屋で就寝
3:30 隊長、鈴木はよもやま話に盛り上がり気付くと3時半だったのであわてて就寝
瀬戸氏はぐっすり眠っておられた

(6)8月11日（火）

- 7:30 起床
8:00 朝食
9:30 タクシーでサントリー白洲蒸留所の工場見学に向かう
10:00 工場見学開始、ゲストハウスでサントリーローヤルの水割りとジンジャエール割りを飲んで気分は最高、水割りデキャンターを記念に貰う、その後酔った勢いでウイスキー等の土産を買う（商売上手サントリーの罠にはまりつついってしまう）
12:15 工場を後にし、タクシーで小淵沢へ
13:24 小淵沢発
14:15 塩尻着、美味しい蕎麦屋が準備中のためむかひの中華料理屋で遅い昼食、酔いざめに飲んだビールは美味しい
15:48 塩尻発
17:45 中津川着
17:48 中津川発
18:58 名古屋着、瀬戸氏はここで東海道線に乗換え京都へ
19:30 キオスクで坂角のえびせんを購入し近鉄名古屋駅から大阪へ
21:00 名張着、森本氏はここで乗換え家路へ
21:30 鶴橋着、環状線に乗換え隊長と別れる
21:50 新今宮着
22:00 南海新今宮駅で辻川氏と別れ家路へ

7 総括

今年は、春の立山といい、夏の鳳凰三山といい本当に天候に恵まれませんでした。にもかかわらず、充分楽しめたのは、個性的で愉快的なメンバーに加えていただいたからでしょう。来年は天候に恵まれた登山であってほしいと願いつつ筆を下ろさせていただきます。

以上